

## 第 44 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2017 年 2 月 14 日(火) 10:00~12:00  
場 所：陸前高田市コミュニティホール 中会議室  
出席者：13 団体 20 名  
文 責：種坂（事務局）

### 1. 事務局連絡

- 次年度支援連絡調整会議：内容の全体共有について
- ・ 4 月より各グループは自主開催になるが、全体への内容共有として、メーリングリストを活用した情報発信にご協力をお願いします。

### 2. 情報共有/活動報告

- アバッセたかた・まちなか広場開業イベントへの協力依頼（協働センター）
- ・ 昨年、今後の中心市街地のにぎわいに貢献したい、という市内 NPO 有志がワークショップを実施し、商業者や市役所関係者とも意見交換した。そこから発展し、中心市街地の大型商業施設（アバッセたかた）とまちなか広場の開業イベントに、ぜひ NPO にも協力してほしい、と主催側から話をもらった。単なる商業施設の開業ではなく、まちびらきの意味合いもあり、市役所も一緒になって開催する。
- ・ オープンは 4 月 27 日(木)。開業イベントは 4 月 27 日(木)から 5 月 7 日(日)までの土日祝を中心に開催される。イベント運営補助ボランティアと、集客につながるイベントのアイデアがあれば、協働センターまでご連絡ください。
- 各団体より活動報告、今後の予定などを共有（全体）

- ・ 各団体より 1 月以降の活動報告、連携報告、協力依頼およびイベント告知。  
質問あれば適宜。各団体 2 分程度で報告。

※以下発表順、団体および発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 44 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

#### ◆活動報告

1	いわて生協／池田	・ ふれあいサロン：今後も継続。2011 年 6 月開始から数えて 3 千回目をサン・ビレッジ高田で開催した。災害公営住宅からの要望もあり、実施を検討中。
2~3	大船渡地域振興センター／高橋	・ 1/30（月）県の第 3 期復興実施計画の説明会@大船渡：陸前高田の支援団体も多く参加した。 ・ 被災者相談支援センター1 月相談件数：相談員対応 82 件（住宅関連 26、生活・健康・人間関係等 16 など）、専門家対応 15 件の合計 97 件。ファイナンシャルプランナーの相談を活用してほしいので、チラシを作成し、仮設住宅に配布予

		<p>定。周知にご協力いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3/4(土)住宅再建まるごと相談会@コミュニティホール。陸前高田・大船渡の市役所職員やファイナンシャルプランナーも来るので住民に周知してほしい。</li> </ul>
4~5	もっちいと森の仲間たち／望月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディーゼル車からガソリン車に買い替えたため、週2回の沿岸での活動が、週1回になるかもしれない。</li> <li>・岩泉では遠野まごころネットが3月で撤退。同団体の井上さんは退職し岩泉に残る予定。</li> <li>・2/14(火)支援連絡調整会議食飲会議@二又復興交流センター：10名ほど参加予定。</li> <li>・3/9(木)森の前の花壇づくりに関わった人の同窓会を花巻の大沢温泉で開催。興味がある方は参加してください。</li> </ul>
6	りくカフェ／齊藤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・百歳体操：毎週月曜日継続中。</li> <li>・スマートクラブ：来年度は4/19(水)スタート。申込受付がまもなく始まる。</li> <li>・2/25(土)3/8(水)は団体貸切。夜間のくまカフェは通常営業。</li> <li>・鳴石の道路拡張工事に伴い、もとカフェ(レンタルスペース)を移設する。3月4月はレンタルを中止する予定。</li> </ul>
7	いわて連携復興センター／葛尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/17(金)第2回東京交流会：陸前高田から2団体、県内10団体が参加。岩手のNPOと首都圏企業をつなぐ。70名ほど参加予定。開催後はHPで報告する。</li> </ul>
8~9	陸前高田市復興支援連絡会／佐藤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り：仮設住宅の空き家で数カ所、水抜きが不十分なために、凍結により水道管が破裂し、水漏れに対応。</li> <li>・お茶会：仮設住宅や災害公営住宅で継続。1月は計30回、168名参加。大野団地(広田町)では、近隣住民も含め約21名が参加した。</li> </ul>
10~11	NEC ネットエスアイ(ひまわりハウス)／村上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/10(金)~4/11(火)横田の画家・田崎飛鳥さんが、自宅アトリエと母親のパン屋がある場所に、集える温かい空間を作る内容で、クラウドファンディングに挑戦しており協力している。「Readyfor」で検索を。</li> </ul>
12	NPO 法人ハマトラ 横浜フットボールネットワーク／篠原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日総会があり、今年度も引き続き陸前高田での活動継続が決定。もともと横田小の子どもたちが遊ぶ場所がないとのことで始まった活動だが、今後仮設住宅の撤去に伴い、横田小グラウンドが空くと思われるので様子を見ている。</li> </ul>
13~15	認定NPO法人 遠野山里暮らしネットワーク／佐藤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1/18(水)うまいもの交流会@中田団地：沖縄料理を提供。一緒に作る予定だったがかなりの年配者が多く断念。沖縄の歌を歌ったり、大船渡のアーティストの生バンドでのカラオ</li> </ul>

		<p>ケなどで盛り上がり、大変喜ばれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほっとひといき事業：2/7(火)竹駒仮設と下矢作住民 20名ほどが参加。2/16(木)滝の里仮設が行く予定。</li> <li>・2/15(水)、24(金)編み物講習会@中田団地</li> <li>・3/4(土)法政大学ボランティアサークル「チーム・オレンジ」30名が滝の里仮設、中田団地でお茶会を実施予定。住民との交流がメインとなる。</li> </ul>
16	陸前高田まちづくり協働センター／三浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うごく七夕写真展示とコンテスト@コミュニティホールエントランス：高田地区市民会議から生まれた企画。投票期間2/11(土)～19(日)。2/26(日)のカラオケ祭りで優秀者を表彰する予定。投票期間後ももう少し長く展示する予定。</li> <li>・3/6(月)13:30～これからの地域づくりを考えるセミナー@コミュニティホール中会議室：住み慣れた地域でずっと暮らし続けるための方法や事例を紹介。コミュニティ支援団体や住民の方で興味がある方は参加ください。</li> </ul>
17～18	特定非営利活動法人パクト／桑久保、熊谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二又復興交流センター：1月の宿泊客が30名と少ない。昨年の約3分の1。1年おきに100名を超えるが理由は不明。沿岸部全体で今年は厳しいようだ。</li> <li>・サポートステーション：1月のボランティアは個人62名、団体19名、合計81名と少ない。2月3月はいくつか予約あり。1月は古川沼の捜索や、栃ヶ沢アパート住民からの依頼で窓に緩衝材を貼る作業。3/11(土)はボランティア作業中止。事務所は稼働する。</li> </ul>
19	教育支援チーム「まつ」／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や先生たち、学校に行けない子供の支援を継続。1月是不登校の子どもたちの支援を何度か行った。</li> </ul>
20	NPO 法人 福祉フォーラム・東北（朝日のあたる家）／長友	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/18(土)ほっとカフェ：あすなるホームで働く熊谷正弘さんによるコーヒーの提供。</li> <li>・2/21(火)音っこあそび：子育て支援センターあゆっこ共催。親子連れに声をかけて欲しい。</li> <li>・3/8(水)、14(火)13:00～臨時休業。</li> <li>・本日、朝日のあたる家でチョコレートをプレゼント。</li> </ul>

### 3. 活動分野毎の討議・意見交換

- 「今後の連携・協力・サポート体制構築に向けた情報の整理と一覧化および意見交換」  
(グループ議論)

<1G 地域・コミュニティ>

#### ○ 仮設住宅の集約

- ・ 計画通り進んでいるが、これからは個人の声のサポートが必要。「ニーズがあれば助け

たいが、大々的にPRしない」「見守り機能は強化したい」などの意見が出た。

- ・ 災害公営住宅が出来たら仮設住宅の集約がスムーズに進むというわけではない。
- 災害公営住宅での支援のあり方
  - ・ 災害公営住宅では自治会も出来てきているので、全てやってあげるのではなく、住民が自主的にやっていくことが重要。生協のふれあいサロンも仮設住宅と同じ形では出来ないということで、やり方を検討している。
- 災害公営住宅への引っ越しや仮設住宅の集約による影響
  - ・ 転居に伴い、住民の行動範囲が変わってきている。これまでりくカフェに来ていた方が来られなくなったり、逆に近くなって来ていただいたりしている。

#### <2G 子ども・教育／女性・子育て>

- 来年度について/会議をどのような場にするか
    - ・ 子ども支援ネットワーク会議（事務局：パクト）の来年度の継続が決まり、そちらに一本化することが決まり安心した。
    - ・ 会議では、情報共有だけではなく、色々なノウハウを持った団体があるので、うまく活用できるような話し合いの場になると良い。出来れば学生も交えたい。
  - 大学生との関わり方について
    - ・ 学生たちが課題やニーズが分からず行き場がなくなっている様子が見られる。せっかくできた繋がりをつないでおきたい。
- 広田町ではSETが色々なプログラムを組んで、上手に学生と地域を巻き込んでいる。

#### <3G 商工・観光・産業・その他>

- 情報共有
  - ・ スタッフなどが大病を患うことが増え、東北の冬は厳しいと感じる。周囲の人がたまたま気づいて大事に至らなかったという事例があるので、一人暮らしの人など注意したい。
  - ・ ひまわりハウスのクラウドファンディングや、連絡会のおらほアート展についての詳細。
- 交流人口増加に向けての対策
  - ・ 宿泊者減はほとんどビジネス利用の減少。復興工事が年度末で休んでいることが影響か。今後工事が終了した場合、交流人口どうなるのか。高田松原は大きな道の駅が出来が、魅力的な中身になるのか注目したい。例えば温泉施設などがあると良い。
  - ・ 学生などの外部ボランティアが減少。防災教育に移行してきている。6年間を経て、熊本などの最近災害があった地域の支援に移っている。交流人口増加には新たな仕組みが必要になる。

#### ➤ 次年度の全体会（全体議論）

- ・ 全体での交流が年に数回あると良い、との意見を受けて、今後の全体会を検討。
- ・ <1G>分科会は第2火曜日 10:00~12:00 朝日のあたる家で実施。会場は他のグループも入れる広さ。ただし、会議のための貸切ではなく来館者もいつでも入れる状態。
- ・ <2G>子ども支援ネットワーク会議(毎月第3木曜日)へ一本化する。運営母体が変わる

ため、日程を変更して他のグループと一緒にできるかは分からない。年 3~4 回の全体会でそれぞれの分科会の報告ができるが良い。

- ・ <3G>あくまで分科会ごとの開催だが、各グループが毎月同日に朝日のあたる家で開催できると、顔合わせることができる。今のように全員が活動報告しなくても、全体にお知らせしたいことがあれば共有するイメージ。会う頻度が低いと間近のイベント等のお知らせが出来ないので、できれば毎月顔を合わせたい。

Q. 行政にとって月 1 回という頻度はどうか？

A. <大船渡地域振興センター>定期的に直接お会いしてイベントや相談会の告知ができるのは有り難い。

Q. 朝日のあたる家で同時開催の場合、全体での仕切りはしない？

A. <3G>しない。仕切ると大変なので、お知らせがある人は自分からみんなに言う。

#### 4. その他

<もっちいと森の仲間たち>

- ・ 仮設住宅集約の情報がほしい。横田とモビリアに最終的に集約されると噂では聞いているが、支援で苗などを持っていくときに長くの残るところに持っていきたい。

→<大船渡地域振興センター>

- ・ 市の HP に掲載されているが、情報が古い。市に確認して後で共有します。

#### 【次回の開催日程】

第 45 回 支援連絡調整会議

日時：3 月 14 日（火）10：00~12：00

会場：陸前高田市コミュニティホール 中会議室